

〔江戸總鹿子新增大全〕諸細工名物

楊弓結界場を記す

筋違橋御門外 楊水 瀬戸もの町 次名 本郷春木町 桂風 柳原新橋向 圓志

芝かわらけ町 波翁 湯島天神前 文車 芝切通し 都住 牛込榎町 辨天

淺草行安寺前 完爾 四谷 芝交 小石川すは町 丹治 數寄や橋御門外 松林

赤坂一木町 古文 以上

〔東都歳事記五月〕廿五日楊弓結改摠會中略貞享の頃、江戸射場橋町三丁目鈴木三意一計、湯島十

三ヶ所を舉たり、當時天保結改場山の手に二ヶ所、下ヶ町に四ヶ所あり、即左に記す如し、

〔織留〕藝者は人をそしりの種

諸藝を鍛鍊する事、それ〴〵の家業の外は、ふかう其道に入る事なかれと、古人の言葉ひとつもたがふ事なし略。中殊更楊弓官女の業なり、いかにしても大男の慰み事にはぬるし、なをまた諸職人の鎚鋸を持たる手には似合はず、よし又百筋ながら當り、あるひは大金書の看板に付てから何此矢自然の時の用に立ち、せめて盗人を射るめるにもあらず、肴引猫にあて、も更におどろく事なし。

〔好色一代男〕戀の捨銀

折節楊弓始まりて、各やうく朱書位に争はれしに、或御方の道具を借りて、取弓取矢にして、四本はづれず、一筋は切穴に通れば、座中目を覺まして、なほ所望するに數あり。

〔好色一代女〕妖孽寛濶女

都にて大内の官女、楊弓ものし給ふさへ、替り過ぎたる慰のやうに思ひしは、これはそもく楊貴妃の弄び給へると傳へければ、今も女中の遊興に似合はしき事にぞ。